

# 第7回アジア国際空手道選手権大会

## 第1回全関東総合空手道選手権大会

- ・フルコンタクト空手部門（一般・ジュニア）
- ・ケイオス(防具付)空手ルール部門 顔面攻撃有りの防具付ポイント制空手ルール  
(一般・ジュニア)

拝啓 時下益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。

今年で第7回目を迎えます「アジア国際空手道選手権大会」を下記日程にて開催する事となりました。

加盟しておりました元国際総合空手道連盟の参加団体の皆様と共に、三田広州初代会長が提唱した総合空手の理念を継承すべく「国際空手道協会」を設立致しました。

私はその副会長及び関東ブロック長の拝命を受け、今回新しい組織の「全関東総合空手道選手権大会」を兼ねて開催する事となりました。

昨年までの参加団体に加えて多くの皆様の出場が予想されることから会場も、神奈川県(川崎とどろきアリーナ)や築地社会教育会館(サブアリーナ的小規模会場)ではなく、東京都心にある大型会場、中央区総合スポーツセンター(約3000人収容)に会場を移し開催致します。

何卒、多くの流派、団体の先生方及びご父兄、選手の皆様のご賛同とご参加をいただきます様、心からお願い申し上げます。

敬具

平成24年 4月 吉日

最高審判長 羽山威行

実行委員長 内田和久

運営委員長 佐藤真之

主催 国際FSA拳真 国際FSA拳真館空手道連盟 総本部

共催

「国際空手道協会 関東事務局」

試合方法

- ・フルコンタクトカラテルール・トーナメント方式  
(ジュニアはJKJO 公式ルール)
- ・顔面攻撃ありの防具付きポイント制空手ルール  
トーナメント方式

開催日 2012年 7月 22日 (日)

時間 開場・受付 午前10時00分

開会式 午前10時30分

◎決勝戦終了後 コートごとに表彰式

場所 中央区総合スポーツセンター メインアリーナ

交通 別紙地図参照

参加費用 ◎フルコンタクトカラテルール 幼年・小・中・高校生の部 ￥6,000

◎フルコンタクトカラテルール 女子・マスターズ・一般色帯クラス ￥7,000

◎ケイオス(防具付)空手ルール ジュニア部門 ¥ 6,000

◎ケイオス(防具付)空手ルール 一般部門 ¥ 7,000

※大会パンフレット、ウイダーインゼリー付き

※フルコンタクトカラテールの参加費でダブルエントリーできます。

※ダブルエントリーの際は申込書を種目別に2枚提出してください。

試合が重ならない様調整しますので、振るってご参加下さい。

申込み締切り 2012年6月22日(金)必着 ※申込書不足分はコピーして下さい。

申込み方法 所定の申込書に記入捺印の上、参加費と共に現金書留で郵送してください。  
※参加費は団体責任者が一括して参加申込み用紙を、現金書留にて締切日までに郵送してください。申込み用紙のみ、参加費のみの申込みは受けません。

注意事項

- ① 選手は事前に健康診断を必ず受診してください(診断書提出不要)。
- ② スポーツ保険に各自加入してください。(保険は4月での更新の場合が多いのでご注意ください)また、試合当日は万一のため健康保険証の持参をお勧めいたします。
- ③ セCONDは2名とし、セCONDパスを大会当日発行します。
- ④ 試合中負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。
- ⑤ 何らかの理由で参加不可能となった場合必ず大会事務局まで連絡してください。
- ⑥ 大会事務局に納入した参加費はいかなる理由があろうとご返却出来ません。
- ⑦ ゼッケンは大会当日、各団体一括でお渡しします。
- ⑧ 審判員には昼食を用意致します。
- ⑨ 出場選手の肖像権は主催者に帰属します。各種報道機関等が取材する場合がありますが、映像や画像が放映、掲載される場合があることをご了承ください。
- ⑩ 女子クラスの道着の下へのTシャツ着用は、白色のみ認めます。男子クラスのTシャツ着用は、禁止となります。
- ⑪ 会場の駐車場は使用できません。近隣の駐車場をご利用ください。
- ⑫ 三位決定戦はありません。三位入賞者は二名です。

送付宛先 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-28-2第二高円寺603号  
FSA拳真館 アジア国際大会事務局

TEL/FAX [03-5378-6036](tel:03-5378-6036)・携帯[070-5029-1110](tel:070-5029-1110)

\*尚、『国際空手道協会』では加盟団体、道場を募集しております。  
お気軽にお問い合わせ下さい！TEL [070-5029-1110](tel:070-5029-1110)担当:佐藤まで。

その選手だけでなく団体を即刻退場とする。

G. 軽量級、中量級で体重オーバーの際、減点が失格。

5. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。
- A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
  - B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
  - C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金10万円を申し受けます。
  - D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。
6. 防具
- A. ヘッドギアは主催者側で用意致しますが、その他の防具は各自で用意してください。  
\*(拳・足 甲サポーターは中身がスポンジ製で表は布製のものを使用)。
  - D. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。
  - E. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。

— 試合規約 —

第7回アジア国際空手道選手権大会  
第1回全関東総合空手道選手権大会  
ケイオス(防具付)空手ルール一般・女子部門

試合時間	一回戦～準々決勝	●ケイオス(防具付)空手ルール一般男子・一般女子 本戦(1分30秒)→延長(1分)→体重判定(軽いほうが勝者)
	準決勝、決勝戦	再延長(1分)あり

1. 一本勝ち(技あり3本で一本) 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。  
3秒以内に立ち上がった場合は「技あり」。  
技あり上段への攻撃(突き、蹴り等)、中段への攻撃(突き、蹴り等)がノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり。  
今年からローキックは認める。ただし、ダメージのみを取ることにする。
2. 判定  
定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。  
延長、再延長でも決らない場合は体重の軽い方が勝者となる。
3. 反則
- A. 拳、肘による後頭部への攻撃。
  - B. 金的蹴り、貫手による首・への攻撃。
  - C. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。
  - D. 以上の他審判員が特に反則とみなしたとき。
  - E. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意2で減点1(減点1は相手方に技あり1)。  
注意3で失格となる。
  - F. 相手をつかんだ時。
  - G. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
  - H. 掌底で押すこと。
  - I. 手を抱えたままの攻撃(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)

－ 試合規約 －

第7回アジア国際空手道選手権会

第1回全関東総合空手道選手権大会

フルコンタクト空手ルール

(ジュニアはJKJO公式ルール※別紙「JKJO全日本空手審判機構試合規約」参照)

組手の勝者は、一本勝・判定勝ち・相手の反則ないし失格による勝ちにより決定される。

試合時間	一回戦～準々決勝	●一般女子・マスターズ・一般色帯クラス 本戦(2分)→延長(1分)→体重判定(軽いほうが勝者)
	準決勝、決勝戦	再延長(1分)あり

1. 一本勝ち(技あり2本で一本) 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。3秒以内に立ち上がった場合は「技あり」。上段蹴りがノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり、触れただけや、押したような蹴りは技ありを取らない。但し胴廻し回転蹴りの様に自ら倒れこんで蹴る技は、ダメージのみを取るものとする。
2. 判定基準
  - A. 「注意」「技あり」がない場合の優先順位
    - 1・ダメージ 2・有効打 3・手数、足数 4・気迫、積極性
  - B. 「注意」差一つの場合は勝敗にあまり関係ない。但、マストシステムの最終延長において試合内容が全く互角の場合は「注意1」を取られた方が負けとなる。
  - C. 定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。
  - D. 延長、再延長でも決まらない場合は体重の軽い方が勝者となる。
3. 反則
  - A. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意4で失格となる。
  - B. 拳・肘による顔面殴打。
  - C. 金的蹴り、貫手による顔面・首・頭突きの攻撃。
  - D. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。背後から攻撃をしたとき。
  - E. 以上の他、審判員が特に反則とみなしたとき。
  - F. 相手をつかんだ時。
  - G. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
  - H. 掌底で押すこと。
    - I. 相手を抱えたままの攻撃。先に抱えた方が反則(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)
    - J. 膝蹴りの際の瞬間的なヒッカケは可、但し連続で行うことは、不可。
    - K. 技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。
    - L. 頭をつけての攻撃はバッティングの反則
4. 失格
  - A. 試合中、審判員の指示に従わない時。
  - B. 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
  - C. 見合ったままでの状態で1分以上経過した時。
  - D. 粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。
  - E. 注意を4回受けた時。
  - F. セCOND及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、

その選手だけでなく団体を即刻退場とする。

G. 軽量級、中量級で体重オーバーの際、減点が失格。

5. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。
- A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
  - B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
  - C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金10万円を申し受けます。
  - D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。
6. 防具
- A. ヘッドギアは主催者側で用意致しますが、その他の防具は各自で用意してください。  
\*(拳・足 甲サポーターは中身がスポンジ製で表は布製のものを使用)。
  - D. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。
  - E. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。

— 試合規約 —

第7回アジア国際空手道選手権大会  
第1回全関東総合空手道選手権大会  
ケイオス(防具付)空手ルール一般・女子部門

試合時間	一回戦～準々決勝	●ケイオス(防具付)空手ルール一般男子・一般女子 本戦(1分30秒)→延長(1分)→体重判定(軽いほうが勝者)
	準決勝、決勝戦	再延長(1分)あり

1. 一本勝ち(技あり3本で一本) 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。  
3秒以内に立ち上がった場合は「技あり」。  
技あり上段への攻撃(突き、蹴り等)、中段への攻撃(突き、蹴り等)がノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり。  
今年からローキックは認める。ただし、ダメージのみを取ることにする。
2. 判定  
定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。  
延長、再延長でも決らない場合は体重の軽い方が勝者となる。
3. 反則
- A. 拳、肘による後頭部への攻撃。
  - B. 金的蹴り、貫手による首・への攻撃。
  - C. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。
  - D. 以上の他審判員が特に反則とみなしたとき。
  - E. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意2で減点1(減点1は相手方に技あり1)。  
注意3で失格となる。
  - F. 相手をつかんだ時。
  - G. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
  - H. 掌底で押すこと。
  - I. 手を抱えたままの攻撃(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)

- J. ヒッカケ及びつかみはすべて不可。
- K. 技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。
- L. 頭をつけての攻撃はバッティングの反則

M. 相手選手の反則によりその後の試合続行が不可能となった場合、反則を行った選手は失格とする。

また、その場合、次の試合において、試合続行が不可能の対戦相手を不戦勝とする。

#### 4. 失格

- A. 試合中、審判員の指示に従わない時。
- B. 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
- C. 見合ったままでの状態で1分以上経過した時。
- D. 粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。
- E. 注意を3回受けた時。
- F. セCOND及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、その選手だけでなく団体を即刻退場とする。
- G. 軽量級、中量級で体重オーバーの際、減点か失格。

#### 5. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。

- A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
- B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
- C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金10万円を申し受けます。
- D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。

#### 6. 防具

- A. ケイオス防具付の部はヘッドギア、胴プロテクター、拳サポーター、レッグサポーター、ファールカップ着用を義務付ける。
- B. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。
- C. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。

### ケイオス(防具付)空手ルール ジュニア部門

試合時間	一回戦～準々決勝	●ケイオス(防具付)空手ルール ジュニア部門 幼年・小学生・中学生 本戦(1分30秒)→延長(1分)→マスト方式による判定
	準決勝、決勝戦	再延長(1分)あり→マスト方式による判定

#### ※< 6ポイント先取ルール >

1. 一本勝ち 反則箇所を除いて、突き・蹴りを瞬間的に決め、相手にダメージを与えるか相手が試合続行不可能となった場合。6ポイントを先取りした時点で一本勝ちとなる。  
技あり 上段への攻撃(突き、蹴り等)、中段への攻撃(突き、蹴り等)がノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり。  
\*ジュニア部門は少しでもダメージがあった場合は一本勝ちとする。
  - ①上段突き1ポイント
  - ②中段突き1ポイント
  - ③中段蹴り2ポイント
  - ④下段蹴り2ポイント ※下段蹴りは相手が崩れた場合のみポイントとなります。
  - ⑤上段蹴り3ポイント

#### 2. 延長戦

両者ポイントがない場合、もしくは同数ポイントの場合は自動的に延長戦に入る。

3. 判定  
定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。  
1回戦から準々決勝までは、延長戦（1分）まで行い両者ポイントがない場合、もしくは同数ポイントの場合は、マスト方式による判定で勝敗を決める。  
準決勝・決勝戦は再延長戦（1分）まで行い両者ポイントがない場合、もしくは同数ポイントの場合は、マスト方式による判定で勝敗を決める。
4. 反則  
A. 拳、蹴りによる後頭部及び背後への攻撃。  
B. 金的蹴り。肘による首から上への攻撃。貫手による首への攻撃。  
C. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。  
D. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意2で減点1（減点1は相手方に技あり1）  
注意3で失格となる。  
E. 相手をつかんだ時。  
F. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。  
G. 掌底で押すこと。  
H. 手を抱えたままの攻撃(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)  
I. ヒッカケ及びつかみはすべて不可。  
J. 技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。  
K. 頭をつけての攻撃はバッティングの反則  
L. 相手選手の反則によりその後の試合続行が不可能となった場合、反則を行った選手は失格とする。また、その場合、次の試合において、試合続行が不可能の対戦相手を不戦勝とする。  
M. ジュニア部門はフック禁止。手による攻撃は直突きのみ有効。  
N. 以上の他、審判員が特に反則とみなしたとき。
5. 失格  
A. 試合中、審判員の指示に従わない時。  
B. 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。  
C. 見合ったままでの状態で1分以上経過した時。  
D. 粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。  
E. 注意を3回受けた時。  
F. セCOND及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、その選手だけでなく団体を即刻退場とする。
6. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。  
A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。  
B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。  
C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金10万円を申し受けます。  
D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。
7. 防具  
A. ケイオス防具付の部ジュニア部門はヘッドギア、胴プロテクター、専用拳サポーター着用、レッグサポーター(布製)、ファールカップ着用を義務付ける。  
※ ヘッドギア・胴プロテクター・拳サポーターは主催者側が用意します。  
※ 拳サポーターを持参いただく場合は指定の物「イサミ製カラー拳サポーターL-3091J少年用(¥1,500)」を各自持参のこと。

B. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。

C. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。

第7回アジア国際空手道選手権大会  
第1回全関東総合空手道選手権大会  
参加申込書

他流派団体名			
住所			
TEL FAX 携帯番号			
国際FSA拳真館(総本部)支部名			
(各流派代表者もしくは支部長)氏名及び捺印 ⑩			
ふりがな		性別 男・女	年齢 歳
氏名		昭和・平成 年 月 日生	
住所 〒			
電話番号		携帯番号	
身長 cm	体重 kg	出場種目番号	
級・段位	帯の色	学年(※4月からの新学年) 年生	
修行年数及び過去の大会入賞実績		スポーツ保険加入チェック欄 (○で囲んでください) 未加入者は出場できません <b>有・無</b>	

私儀、上記の通り相違いなく、また本大会のルールに従い正々堂々と競技することをここに誓います。  
万一試合中の事故、ケガがあった時、主催者側及び誰にも責任の所在を問うものでない事を誓約致します。

(未成年者の場合)保護者氏名 \_\_\_\_\_

⑩ 日付 /

(本人)氏名 \_\_\_\_\_

⑩ 日付 /

国際FSA拳真館空手道連盟 御中



## 賛助用紙

### 第7回アジア国際空手道選手権大会 第1回全関東総合空手道選手権大会

#### A 寄付ご賛助（口円）＜一口5,000円＞

\*ご寄付下さいました方は、大会参与としてプログラムの大会役員欄にお名前をご掲載させていただきます。

#### B 広告ご賛助（円）

\*右を参考にお決め下さい。

なおプログラムはA4サイズです。

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1. 1ページ   | \100,000 |
| 2. 1/2ページ | \50,000  |
| 3. 1/3ページ | \30,000  |
| 4. 1/4ページ | \20,000  |
| 5. 1/8ページ | \10,000  |

(1～5の数字のどれかに○をつけて下さい。)

#### C 特別広告ご賛助（円）

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 1. 裏表紙    | (1 <sup>^</sup> -ジ) ¥200,000 |
| 2. 表紙裏    | (1 <sup>^</sup> -ジ) ¥150,000 |
| 3. 表紙裏の隣  | (1 <sup>^</sup> -ジ) ¥150,000 |
| 4. 裏表紙裏   | (1 <sup>^</sup> -ジ) ¥150,000 |
| 5. 裏表紙裏の隣 | (1 <sup>^</sup> -ジ) ¥150,000 |

(1～5の数字のどれかに○をつけて下さい)

\*特別広告は各1ページ、一名ずつですのでご注意ください。なお、ご賛助下さいました方は、プログラムにお名前を、また、特別広告ご賛助の方は、よろしければお名前とお写真、ご挨拶をご掲載させて頂きたいと思っております。

☆以上A、B、Cいずれかに○を付け、（円）内にご記入の上、広告賛助にご協力下さいます方は名刺、版下、原稿(ロゴマークの有無に関らず対応致します)、手書きのメモ等をこの賛助用紙、及び現金と共に大会実行委員会まで現金書留にてご郵送下さるか、直接、支部長または道場生にお渡し下さい。その他、何かありましたら直接、大会実行委員会までご連絡下さい。

ご芳名

ご住所

TEL

## 会場へのアクセス方法



## 住所・交通

東京都中央区日本橋浜町2丁目59番1号 区立浜町公園内 電話 03-3666-1501

### 【最寄りの交通機関】

- ・都営地下鉄新宿線浜町駅下車 A2番出口 徒歩2分
- ・東京メトロ半蔵門線水天宮駅下車 7番出口 徒歩10分
- ・東京メトロ日比谷線人形町駅下車 A1番出口 徒歩8分
- ・都営地下鉄浅草線人形町駅下車 A3番出口 徒歩10分
- ・都バス「錦11 錦糸町駅前ー築地駅前」浜町二丁目停下車 徒歩3分

### 【車でお越しの場合】

- ・首都高速 箱崎インター又は浜町インターから 5分

※利用者専用駐車場（有料）は台数に限りがありますので、電車・バス等の公共交通機関をご利用いただくか、車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。